

な な む ら

12 月 16 日(金) 18 時から『人権学習会』を開きました。
内容は、日浦照小校長のお話と DVD 視聴でした。参加者 27 名。

日浦先生は、「正しく理解し、人間としての生き方を学び、自己を振り返り、実行する。」という趣旨で、認知症と同居問題について、照小の取り組みも交えて約 30 分間お話しされました。

DVD は、『ここから歩き始める』というタイトルで、「認知症を共に生きる」というテーマで 34 分間の上映でした。

〈あらすじ〉会社勤務の信介が認知症の父と同居を始めるが、その父がガスコンロを消し忘れるなどの症状が出て、信介の妻らとあつれきを生む。ある日、父がいなくなり、花店で発見されたことをきっかけに父の思いに気づき家族の絆を紡ぎ直していくというものでした。

超高齢者社会を迎え、日常生活の中で、どうすれば高齢者の尊厳が守られ、その豊かな経験や知識が尊重され、活用される地域社会づくりができるかを考えさせるものでした。

参加された方々にとって、自分自身や家族一人ひとりのこれからについて思いを巡らし、それぞれが安心して幸せに暮らすためにできることについて見つめ直す良いきっかけになったのではないのでしょうか？



編集後記:この1年間、照来地区公民館の活動にご理解の上積極的にご参加くださりありがとうございました。厚くお礼申し上げます。来る年は、公民館をそれぞれの拠点施設としてグループ、サークル活動を展開くだされば幸いです。来る年が皆様にとって、素晴らしい年となりますよう心からお祈ります。(記:坂本 明)